

2024 年度一泊研修旅行一報告書

牧野富太郎の世界を巡る

記録担当 5 班

【実施日】 2024 年 5 月 23 日(木)～24 日(金) 【参加人数】 57 名
【行先】 高知県～徳島県 【利用バス】 大型バス 1 台
【集合場所】 JR 新大阪 1 階(正面口)階段下
【宿泊】 亀の井ホテル高知(高知県吾川郡いの町波川 1569)

【1 日目の行程】 5 月 23 日(木)353km 【天気】 曇

JR 新大阪(8 時 05 分)＝淡路島 P A(10 時)淡路島南 PA(10 時 50 分)＝
吉野川 SA(昼食 班長会議 12 時 45 分)＝名越屋沈下橋(14 時 30 分)＝
2 グループに分かれて佐川町散策(伊藤蘭林寺子屋・名教館・牧野富太郎
ふるさと館・金峰神社・司牡丹(16 時 40 分)＝宿舎 17 時着夕食(18 時 30 分)



ヤマトグサ

【1 日目】所感

1 日目は牧野富太郎博士の故郷・佐川町を訪れました。博士やその後に大成した多くの人々も学んだ伊藤蘭林の寺子屋や博士の遺品、直筆の手紙、原稿などが残されている・生家跡地に建つふるさと館や幼少の頃バイカオウレン、ヤマトグサなど多くの植物を採取し、その後の博士の一生を決定づけた・金峰神社などタイムスリップしたような町並みを巡って博士のルーツを堪能しました。

【2 日目の行程】 5 月 24 日(金)325 km 【天気】 曇

ラジオ体操(6 時 30 分)＝朝食(6 時 45 分)＝宿舎発(8 時 15 分)＝高知県立
牧野植物園(9 時 20 分)見学昼食・班長会(12 時 50 分発)＝杉の大杉(13 時)
＝阿波の土柱(15 時 20 分)＝淡路 SA＝JR 新大阪駅(18 時 50 分)解散

【2 日目】所感

2 日目は約 3000 種もの植物を集めた高知県立牧野植物園を訪れ、スエコザサ、 バイカオウレン
バイカオウレンなど博士ゆかりの草花の観察に時間を忘れました。樹齢 3000 年以上、どっしりと根をおろした杉の大杉は見上げるような巨木でした。100 万年前の氷河時代の特殊地形と言われる日本随一の奇勝、阿波の土柱なども印象に残りました。いずれも国の天然記念物になっており歴史を感じました。今回の研修旅行は、2 日間とも曇り空でしたが爽やかな気候のなか自然を満喫した 2 日間でした。



【一口メモ】

1. 牧野博士の世界を巡る旅で生家近くの金峰神社で、バイカオウレンの花を見つける子供の頃の博士の姿が思い描かれる。24 日の朝は 5 時から岡田先生の植物観察を受け何気なく通る道の草花がいとしく感じた。植物園はもう 1 度訪ねてゆっくり博士の世界にひたりたい。
2. 以前より行きたかった牧野植物園に行く事が出来て楽しみでした。生まれ故郷など充実した内容でした。岡田先生との朝の観察会もゆっくりとした時間を楽しみました。ホテルも設備もきれいでお食事もおいしかったです。レクレーションもバスも夜の宴会也大盛り上がりで楽しかったです。色々お世話下さった皆様ありがとうございました。
3. 今回の目的である牧野植物園は説明員の方の上手な説明でしっかり見る事が出来て良かった。